

◎令和3年度 亀嵩小学校 学校評価表

| 本年度の重点目標 | 年度努力事項 | 達成のための方策 | 評価指標 | 肯定的評価(%) | | | | 学校経営の重点に関する成果(○)と課題(●) | 学校関係者評価 意見・感想 | 改善計画 改善案 |
|--|--|---|--|---------------------------------|------|------|------|---|---|---|
| | | | | 目標 | 教員 | 児童 | 保護者 | | | |
| (1) 【自己肯定感の育成】 人権・同和教育と特別支援教育を基盤とした全教育活動の推進により、自己肯定感を高めていくかめっ子を育成する。 名原・原・毛利 | ①全校朝の会の充実を図り、全校児童・教職員の居場所づくり、一人一人や学級、全校のがんばりやよさを共有する場とし、自分や仲間を大切に作る支持的風土の学級・学校集団をつくる。 | ・委員会による全校朝の会の進行 ・きずなくんコーナーの充実 ・今月の詩と歌の工夫 等 | 全校朝の会が、児童 教職員の一体感や安心感につながっていると思える割合 | 90% | 100% | 100% | 100% | 重点(1) 自己肯定感の育成 ◎取組1「全校朝の会」 ○全校で朝の会を行うことで一体感が生まれる。連絡も全校児童に伝えられるので、しっかり伝わる。高学年の動きや発言態度を、低・中学年の児童が見てお手本にしている。今年度は、特に1年生の姿が大きく変化した。(準備、姿勢など) ○「きずなくんコーナー」では、友達の良いところ、良い行動、がんばりを全校の前で発表することで、その行いが全校に広がる。自分では当たり前だと思っていることも、友達が発表することで、自分の良さにつながる。自分から発表する時間が増えていく。友達の自己肯定感を高める要素になっている。 ●児童一人ひとりが発表する時間が延びてしまうが、友だちと同じことであっても自分の言葉で伝えることが大切だと考える。発表時間をしっかりと確保するために朝の活動を入れ替えるなどの必要がある。 ◎取組2「得意技披露会」 ○6月と12月に実施したが、回数を重ねるごとに自己を見つめる力(目標設定能力等)が身に付いてきている。特に12月は人権週間の中で得意技披露会を行ったことで、児童がよりねらいを意識することができ、自分や友だちの良さを頑張りにつなげることができた。 ○1人でも自信をもって披露することができ、ダンスや落語など披露する得意技の内容が広がった。また、友だちの拍手や励ましの声など、認めてもらえる雰囲気が出てきた。 ●担当者の役割分担をできるとよかった。 ◎取組3「一人ひとりを大切に授業」 ○アンケート結果を見ると、肯定的数値が教員100%、児童87%、保護者98%という高い状況であり、取組としては良好であるとする。 | ・教員、児童ともに目標を達成できていて素晴らしいが、保護者の評価が低いように思う(他の重点項目も同じ)。 ・亀嵩小のよさの一つに「上級生が下級生の面倒をよくみる」ことがあげられる。特に大人から言われなくても下級生が上級生を見習って自然といろいろなことができるところが素晴らしいと感じる。小規模校のメリットであり、引き続き亀嵩小の伝統として受け継いでほしい。 ・「全校朝の会」は話すことや多くの先生が子ども達に関われることなどから非常に良い取組である。今後も続けてほしい。 ・「自分は認められている、必要とされている」と感じること、次の活動への意欲がわく。少人数の利点を活かして一人一人を大切にしてほしい。 | 【自己肯定感の育成】 ◎取組1「全校朝の会」 ・来年度も全校朝の会のすばらしさ、きずなくんコーナーの良さを児童に繰り返し伝え、ほめることで、よい形で継続できるようにしていく。 ◎取組2「得意技披露会」 ・来年度は、人権・支援教育推進部で司会・進行、希望とりまとめ、掲示等の仕事を分担する。また、児童会(なかよし委員会)も関わって進めていく。 ・第2回については、今年度同様、人権週間の中で実施できると効果的である。 ◎取組3「一人ひとりを大切に授業」 ・良い点を継続していき、マンネリ化をふせぐこと、当初のねらいを常に中心に置くことを大切にしていきたい。 |
| | ②得意技披露会をとおして、自分の長所や友達の長所に気づく。また、披露会へ向けての練習に取り組むことで、努力の大切さに気づき、やり遂げた達成感を味わうことで、自己肯定感を育てる。 | ・「得意技披露会」の取組(年間2回実施) ・事前練習も含めた過程を重視 | 「得意技披露会」の取組などにより、児童の自己肯定感や自立心を高めることができたと思える割合 | 90% | 100% | 87% | 98% | | | |
| | ③インクルーシブ教育システムの理念に立ち、児童一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な支援を行うことで自己肯定感を高めていく。 | ・校内支援体制(支援員・T・T指導・通級等) ・校内支援会議 ・外部との連携 | インクルーシブ教育(障がいのある者、ない者がともに学ぶ教育)の理念に立ち、児童一人一人に適切な支援をしていると思える割合 | 90% | 100% | 96% | | | | |
| (2) 【学力育成】 基礎基本の定着と思考力・表現力を育てる授業のあり方を追究し、本好きで進んで学習するかめっ子を育成する。 大島・川角・校長 | ④「めあて・学び合い・振り返り」のあるかめっ子スタンダード学習を進め、学習の足跡がのこるノート指導により学び方を身に付けたかめっ子を育てる。また、「聴いて・考えて・つなげる」学び合い学習のあり方を追究し、お互いを高め合い、思考力・判断力・表現力を育成する学習集団づくりをする。小規模校の特徴を生かし、複式学級における学年別指導を充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の視点をもった授業改善に取り組む。 | ・「めあて・学び合い・振り返り」の学習過程 ・自分の言葉でのまとめ、学習の振り返り ・板書、ノート指導の教員の学び合い等 ・話し合い活動の充実や学習形態の工夫 ・個の考え、授業の流れが分かるノートづくり ・ホワイトボードの活用 ・教科言葉を活用した言語活動 等 | かめっ子学習スタンダードとノート指導により学び方を身に付けていると思える割合 | 90% | 100% | 96% | 89% | 重点(2) 学力育成 ◎取組1「かめっ子スタンダード学習」 ○高学年を中心に、友だちの発言を自分の考えと比べながら聞き、友達の発言を受けて自分の考えを発言しようとする児童が増えている。 ○2年生が中学年の授業を、中学年が高学年の授業を見学し、自分たちの学習を振り返る時間を確保した。これから自分たちの学習をどうしていきたいか、児童自ら変わろうとする姿が見られた。 ○お手本となるような児童のノートを共有することで、思考の跡が見えるノートづくりに進んで取り組む児童が増えた。 ●一問一答型の学習になってしまうこともあった。 ◎取組2「読書活動の推進」 ○月曜日の朝読書は時間を確保できた。月曜読書の習慣が身に付いている。 ○高学年のブックトーク、中学年の辞典の使い方、2年生の図鑑の使い方、1年生の「いろいろな船」等、図書館活用の実践を全校で取り組むことができた。 ○図書委員会と学校司書が連携し、おすすめの本や人権の本など、幅広い本を紹介できた。 ○金曜日(場合によっては月曜日)に、全員が図書館に行って本の借り替えを行った。 ○教員やあのおねさんによる絵本の読み聞かせの時間を確保した。 ○学びのサポーターから、おすすの本の紹介のお便りを定期的に発行した。 ○けんこうチャレンジシートに家庭読書の欄を設け、「メディアの時間」が少しでも「読書の時間」になるよう取り組んだ。 ○PTA研修部の「輪読」を再開した。 ◎取組3「基礎基本の徹底」 ○チャレンジタイムや計算の日、漢字・ローマ字テストの取組では、基礎的な内容だけでなく、発展的な内容も工夫して取り組むことができた。 ●チャレンジタイムの算数は、時間を十分確保できなかった。 ○「計算の日」とすることで、全校で基礎基本の定着に取り組むことができた。1年生、中学年、高学年で、九以外の取組もスタートできたので、よいものを引き継いでいく。 ○授業や家庭学習の中で、言葉の意味調べを行ったり、短作文作りを行ったりすることができた。 ○「お話キャッチ」の取組が根付いた。文章の構成や要旨を意識して聞くようになってきた。 | ・「かめっ子スタンダード学習」でリーダーが学習を進めている姿を見て感心した。 ・ブックPCを使った授業で、休校をした時も保護者の協力のもと実施できたのは良かった。他校に先駆けての取組になっている。 ・自分から進んで読書することは少ないように感じる。読書によって得られる知識等の重要性を引き続き指導してほしい。 ・「学ぶことはおもしろい」「一人でも挑戦してみたい」と思うような取組があれば力がつくと思う。 | 【学力育成】 ◎取組1「かめっ子スタンダード学習」 ・ノート指導が授業者まかせになってしまった部分があるので、めあては赤線、まとめは黒線で囲む(定規を使う)など、最低限のルールをつくって、全校に指導する。 ・ブックPCでのノートづくり(必要以上に色やフォントを変えない、学び合いの時間はブックPCに触らない等)や、データの整理の仕方について、教員間の共通理解を図って指導する。 ◎取組2「読書活動の推進」 ・休み時間、子どもが本を積極的に選ぶ仕掛けを行う。(図書館ピンゴ、図書委員会の読み聞かせ等) ・家で本を選びにくい現状があるので、親子読書、読み聞かせ等、家庭を巻き込んだ課題を提出するよう取組を行う。 ◎取組3「基礎基本の徹底」 ・キズナ君コーナーも、本校の大切な取組の1つであるので、「今週は漢字、来週は計算」というように、曜日で内容を変えるのではなく、週で交互に漢字と計算の時間を設定する。 ・かめっ子ことば力、お話キャッチのファイルを次の学年に引き継ぎ、継続して使うようにする。 |
| | ⑤年間指導計画の中に図書館活用学習を位置付け、読書活動や図書館および新聞活用学習を日常的に推進し、本好きなかめっ子を育てる。 | ・朝読書の実施 ・図書館環境整備 ・図書を活用した授業 等 ・生活習慣の改善を通じた読書推進の取組 | 進んで本を読んだり、本を活用して調べたりしていると思える割合 | 90% | 90% | 89% | 69% | | | |
| | ⑥チャレンジタイムを全校朝の会の終了後の16分間を設定し、読書・計算・漢字の基礎学習の定着を図る。 | ・放課後学習(ステップアップ教室)の実施 ・かめっ子エクササイズ ・かめっ子エクササイズの継続 等 ・かめっ子マラソン累計距離の掲示やかめっ子マラソン大会の記録の掲示 ・いこいマラソンでのタイムを意識した取組の実施 | 漢字・計算の基礎学習が定着していると思える割合 | 90% | 100% | 96% | 89% | | | |
| (3) 【ふるまい・体力向上】 ふるまい向上を中核とし、「いきいきかめっ子プロジェクト」と運動好きな子どもを育てる取組により、主体的によりよいふるまい習慣と健康・体力づくりに取り組むかめっ子を育成する。 安部・三原・井上 | ⑦「いきいきかめっ子プロジェクト」の継続発展と学校保健委員会の取組を通して、健康課題の解決をめざす。 | ・生活チャレンジシート、ミニ生活チャレンジシート、睡眠日誌 ・「質の良い睡眠」をテーマにした取組(講演会等) ・親子でのメディア学習の機会の設定 ・学校保健委員会の開催、活動 等 | 睡眠をはじめとした生活リズムやメディア接触時間に気を付けて生活している割合 | 90% | 100% | 89% | 80% | 重点(3) ふるまい・体力向上 ◎取組1「健康づくり・食育」 ○ミニ生活チャレンジシートでは、選んだコースで一人ひとりの苦手な項目がはっきりしたため、改善に向けて来年度も継続して行いたい。睡眠日誌は細かい指導が高学年に偏ってしまっていたが、望ましい睡眠時間と質の確保のため、来年度も継続したい。 ○専門医による講演(今年度はばよばクリニックの田草雄一先生)では、医学的な立場から睡眠の大切さを話していただき、親子で考えるきっかけになっていた。 ●家庭によって、いきいきかめっ子プロジェクトの取り組み方に大きな差があった。メディア時間、読書時間など、諦めてしまっている子どもも多く見られる。また、事前指導が不十分だったため、「気が付けば始まって、気が付けば終わっている期間」になってしまっていた。 ◎取組2「体育の授業づくり・かめっ子マラソン」 ○体育授業でめあてとふりかえりを実施することができた(わたしたちの体育・ブックPCを活用)。また、ICT機器を活用し、児童の運動への意欲向上・技能向上に生かすことができた。 ○本校課題である柔軟性・投力向上に向けての運動を実施することができた。新体力テストの結果から本校の課題である柔軟性・投力で成果が見られた。 ●今年度も、いこいマラソンでタイムを意識した取組を計画していたが、なかなか実施することができなかった。月1回の取組ではなく、かめっ子マラソン前の取組として計画していきたい。 ●新体力テストの結果から50m走(スピード)、上体起こし(筋持久力)に課題が見られた。 ◎取組3「かめっ子ふるまい名人」 ○各委員会、5年生、6年生でそれぞれのテーマに合った、ふるまい目標を決めることができた。特に、なかよし委員会が主体的にふるまい目標の振り返りの場を設定してくれ、ふるまい目標の意識を高めるいい取組となった。 ○毎日ふるまい目標についてのふりかえりを行うことで、ふるまい目標を意識した行動をすることができた。 | ・我が家も同様にメディアとの接触時間については苦労している。親子での取り組みを決めを行い(ルール作り)、時間を守る習慣を身につけてほしいと感じる。 ・「質の良い睡眠」は大人も子どもも次の大きなエネルギーになる。「食べて寝る」が何よりも大切である。 ・走ることが苦手な子どももいるので、目標別のコース設定なども検討してほしい。 | 【ふるまい・体力の向上】 ◎取組1「健康づくり・食育」 ・「生活チャレンジ1週間前シート」を作成し、1週間前から目標達成の手立てを考えるようにする。考えにくい子どもに対しては、養護教諭が個別指導を行う。 ・全校朝の会等を使って、生活チャレンジ週間が始まることを確実に周知する。生活習慣について全体に話す時間も確保する。 ・中高学年には具体的なアドバイスや質疑応答を付箋で行う。低学年は睡眠日誌やチャレンジシートを一人ひとり直接返却する。一人ひとりへの言葉かけを確実に行うために、実施時期を学級によってずらすようにする。 ・児童・保護者対象にした専門医による講演を計画する。 ・生活習慣に関する授業を全学年で実施する。 ◎取組2「体育の授業づくり・かめっ子マラソン」 ・投力向上に向けた取組を継続について、日常的に取り組める活動として、遊びの延長での投げ方指導や紙鉄砲やめんこなどの取組も考えていく。 ・50m走においては体育授業において、短い距離でのダッシュ及び変則ダッシュ等を積極的に取り入れる。上体起こしについては体育授業だけでなく、普段の生活面での姿勢に意識をおき、筋持久力向上に努める。 ◎取組3「かめっ子ふるまい名人」 ・よい子玉の取組を全校で共有する場を設ける。 ・生徒指導会議にて、ふるまい目標について、全員で振り返る機会を設ける。 |
| | ⑧体力向上推進モデル事業で有効であった取組を工夫・継続・発展することを通して、運動好きなかめっ子を育てる。また、年間4回地域を走るマラソンを実施し目標をもち、継続してがんばる心を育てる。練習では走った距離を可視化して運動量を確保し、持久力をあげる。 | ・「かめっ子エクササイズ」や体育の授業時に柔軟性を高める常時運動を取り入れる ・投力向上に向けた取組の継続 ・上記以外の持久力や筋力等、体力向上に向けた体育授業の充実 ・かめっ子エクササイズの継続 等 ・かめっ子マラソン累計距離の掲示やかめっ子マラソン大会の記録の掲示 ・いこいマラソンでのタイムを意識した取組の実施 | 進んで取り組む体育学習やかめっ子マラソンなどの継続により、運動好きな子が育っていると思える割合 | 90% | 100% | 98% | 86% | | | |
| | ⑨学期や年間の重点的に取り組むふるまい目標を児童とともに設定することを通して、「かめっ子ふるまい名人」をめざす。 | ・学年、なかよし委員会の生活目標の設定 ・かめっ子ふるまい名人「よい子玉集め!」の取組 ・ふるまい目標のふりかえりをきずなくんコーナーで行う | 「かめっ子ふるまい名人」の取組により、ふるまいがよくなっていると思える割合 | 90% | 100% | 98% | 82% | | | |
| 【基盤】 | 人権・同和教育の充実 | ⑩互いの人権を尊重する教育の推進と児童の健全育成をめざし、児童・教職員ともに人権意識の向上を図る。 | 人権・同和教育の研修を計画的・継続的に実施し、職員の人権意識を高めていると思える割合 | 90% | 100% | | | ○校内研修を夏休みと2学期に実施できた。2学期は新たな人権課題であるLGBTやSOGIに関する研修を行うことができた。 ○特別支援学級新設に伴い、児童向けに全校朝の会、保護者向けにPTA総会、地域向けに「鼈報」を活用し、啓発活動を行うことができた。 | ・「こんなことを言ったら他人は楽しくないかも」と考えられるような子どもに指導をしてほしい。 ・学習発表会を見て、地域に密着している教育がなされていることを感じた。 ・郷土を愛する心が育っていることは地元民の誇りであり、引き続き地域でも育て、地域教育ができる環境づくりが必要だと感じる。 ・2学期になって、登校班に活気が出てきた。お互いに言葉を掛け合った学校のことを話したりしており、大変いいと思う。 | ・新たな人権課題や特別支援教育への理解を推進できるように、教職員や保護者への啓発や研修を実施する。 ・PTA人権・同和教育研修会を実施することで、教職員や保護者の人権意識の高揚を図る。 ・R3年度の取組を参考にして地域教材と道徳科との関連を図り、カリキュラムマネジメントを推進する。 ・コロナウイルス感染の状況を見ながら、「町の幸福論の学習」や「かみさんサロン」の協力など、実際の町づくりに貢献できるように単元構成を工夫する。 ・各種情報発信の継続を図る。 |
| | ふるさと教育の充実 | ⑪ふるさと亀嵩や奥出雲のよさを体験するふるさと学習により、郷土を愛する心を育てる。また、地域教材と道徳科との関連を図り、カリキュラムマネジメントを推進する。 | ふるさと学習により、児童に郷土を愛する心が育っていると思える割合 | 90% | 100% | 98% | 98% | | | |
| | 積極的な情報発信 | ⑫経営の重点に関する取組や学級の様子を積極的に保護者や地域に発信し、学校教育に対する理解を得る。 | ・かめっ子マラソン大会ページング放送 ・弁当の日通信「食育だより」の発行 ・保健室だより「にこにこスマイル」 ・学級だより 図書館だより ・学校だより「かめっ子通信」、かめっ子 | 学校の教育活動の様子が、積極的に情報発信されていると思える割合 | 90% | 100% | 98% | | | |